

派遣先(年度)	ワシントン研究連絡センター (2019 年度)
現在の業務内容	学部における入試広報業務、留学生支援業務、研究支援業務
研修中の業務内容/研修後、業務にどのように活かされているか	<p>東京本部では学術振興機関長会議、野口アフリカ賞に関する業務を担当しておりました。国際会議の運営業務や関連会議への出席を通じて、世界の学術振興機関の状況に触れることができ、国際会議運営の一連の過程を学びました。また、野口アフリカ賞では推薦募集から審査選考業務に携わることができ、世界中の機関から提出される申請書を扱うことで、大学において競争的資金等の申請のサポートをする上で有益な知識を身につけることができました。</p> <p>ワシントン研究連絡センターでは、シンポジウム運営、JSPS 米国・カナダ同窓会支援プログラム等を主に担当しておりました。これらの業務を通じて、日本と北米の研究交流や北米の大学の状況について理解を深めることができ、さらに大学等への訪問調査や教育研究関係者との交流から所属大学の国際化について考える知見を得られました。</p> <p>東京本部、ワシントンセンターいずれの研修も学術振興機関ならではの経験ができ、今後、所属大学での業務に生きる貴重な経験になりました。</p>